

「家庭基礎」	教科	家庭	単位数	2単位
	学科、学年、組	2学年、1・2・3・4組		
使用教科書	「未来へつなぐ 家庭基礎 365」(教育図書)			
副教材等	「未来へつなぐ 家庭基礎 365 マスターノート」(教育図書)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
---------	--

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点を基に総合的に評価します。

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家族及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	40%	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 実技テスト 作品
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	30%	<ul style="list-style-type: none"> 提出課題 ホームプロジェクト 作品 小テスト
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	30%	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、ノート等 授業への取り組み状況

3 学習計画

学習内容	学習のねらい
A編 第1章 生涯の生活設計Ⅰ 第2章 青年期の自立と家族・家庭 B編 第1章 食生活と健康 ◎調理実習	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 固定的な性別役割分業意識を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を学ぶ。 家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。 食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。 食生活の変化や問題点を知り、環境や食料自給率の問題を考える。
A編 第3章 子どもの生活と保育 第4章 高齢期の生活と福祉 C編 第1章 生活における経済の計画 2 第2章 消費生活と意思決定	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの育つ力と発達段階を知る。 遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。 高齢期の心身の変化や特徴や個人差が大きいことを理解する。 高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。 高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。

3	<p>B編 第3章 住生活と住環境</p> <p>A編 第5章 共生社会と福祉</p> <p>C編 第3章 持続可能なライフスタイルと環境</p> <p>生涯の生活設計2</p> <p>B編 第2章 衣生活と健康</p> <p>◎被服製作：コースターの製作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住居の機能や間取りの基礎知識を学び、ライフステージに合った住居を考える。 ・ 住居を選ぶ際、室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。 ・ バリアフリーの考え方を理解し実践しようとしている。 ・ 多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。 ・ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について課題解決する力を身に付ける。 ・ 生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。 ・ 被服のさまざまな役割を整理する。 ・ 被服材料の特徴を知り、組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などを理解する。 ・ 汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ・ 布を使った生活の工夫を知る。
---	--	---